

現 状

南丹市（なんたんし）は、東京23区とほぼ同じ面積を持った京都府で2番目に広大な面積を有しており、住居が広範囲に分散しているため自動車依存率が高い地域です。少子高齢化がますます進行し、社会環境や生活が変化している中、健康格差が拡大し、健康課題も多様化してきています。慌ただしい現代社会において市民が自らの健康づくりに取り組むことは健康の大切さがわかっていても優先することが難しく、個人の努力のみにまかせるだけでは限界があり、社会全体で取り組む環境整備が大切です。また、日常生活の中で無理なく健康づくりに取り組むためには、家族や仲間とともに楽しみながら活動していくことが大切です。

南丹市では、「住んでいるだけで健康で幸せに暮らせるまち」を目指し、「なんたん健幸ポイント事業」をなんたん健幸都市プロジェクトのハブとして健幸まちづくりを推進しています。

南丹市概要



目 的

ICTを活用し、日常生活で運動量が不足気味の人や健康づくりに関心のない人に、運動するきっかけと継続して運動する環境づくりを提供し、歩くことを習慣化して「健幸寿命」を伸ばし、「健幸都市の実現」を目指します。

事業
内容

■令和8年度の実施内容

- 対象者 南丹市在住、在勤、在学の18歳以上の者
- ①アプリや専用活動量計を携行し、歩数や体重などの定期的に測定された体組成データ（BMIや筋肉率 など）の改善結果に応じてポイントを付与。
参加登録費用 1,000円/年度
 - ②南丹市が指定する健康イベントへの参加、がん検診、健康診査の受診などでポイントを付与。【参加は任意】
 - ③健幸ポイントの交換
貯まったポイントに応じて景品と交換、または地域貢献として寄付。
令和8年度景品： 南丹市商工会商品券 【上限3,500円】
 - ④ウォーカブルなまちの推進
健幸라운ジの拠点を整備し、自然と歩くまちづくりのための環境整備、拠点のPRを実施。他にも、キッズ健幸アンバサダーの養成講座を実施する。

■事業費目安： 41,479,000円

■寄附希望額： 4,800,000円

主な使用用途： 景品代（南丹市商工会商品券）6,825,000円－参加費2,025,000円（見込額）＝4,800,000円

寄附の
ベネフィット

10万円～

- ・ お礼状の送付
- ・ 市HPにおける企業様名やメッセージ、企業リンク、サービスサイトリンク等の掲載
- ・ 市広報誌でのご紹介（企業名のみ）

50万円～

- ・ 市長からの感謝状贈呈および対談の場の設定
- ・ 市広報誌でのご紹介（写真付き）
- ・ 市HPにおける企業様名やメッセージ、企業リンク、サービスサイトリンク等の掲載

（参考）事業写真



【事業担当課・企業版ふるさと納税窓口】

京都府南丹市市長公室 ふるさと創生室

電話：0771-68-1008 メール： kigyo-furusato@city.nantan.lg.jp